

団体名 渡嘉敷村立渡嘉敷小学校	連絡先 TEL : 098-987-2244 Eメール : tokachu@oki-tokashiki.jp
----------------------------------	---

1 実践事項 (2)

タイトル : 「地域に根ざした特色ある学校」

2 実践内容

(1) 校内研の充実

本校は、2学級（3・4年と5・6年）が複式学級という特徴を生かしながら、児童の「主体的・対話的で深い学び」の実現へ向けて授業展開を工夫改善に努めている。毎年、年に二回、琉球大学から山口剛史教授を招き、継続して指導を受けることで、児童の変容を見たり、教師の授業力向上を図ったりしている。また、小中併置校の利点を生かした全職員参観による「一人一公開授業」を実施し、全教諭が教科における見方・考え方を意識した公開授業を実施し、児童が主体的に学ぶための問いの工夫や「めあて」の設定、「めあて」に正対した「まとめ」・「振り返り」の実施に取り組んでいる。

(2) 地域人材を活用した外部講師による指導

①総合的な学習の時間

地域で活動する「慶良間太鼓同志会」に協力いただき、全児童を対象に和太鼓の指導をしていただいている。学習発表会で日頃の成果を発表したり、村の祭りなどにも出演したりした。

②クラブ活動

クラブの活動の時間には、地域の三線教室の先生を招き、三線の指導をしていただいた。

③心肺蘇生法

村診療所に務める看護師を招き、心肺蘇生法の特別授業をしていただいた。

3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）



【複式学級での一人一授業】



【学習発表会での慶良間太鼓】



【三線クラブの活動の様子】

4 成果

○小中教諭が相互に「教科における見方・考え方」を意識した授業を参観することで、思考を深める問いや発問、授業展開の工夫につながっている。また振り返りシートを共有する場を設けることで互いの授業改善につなげることができた。

○複式学級の授業展開（わたり・ずらし等）の課題をみんなで共有し、山口先生の指導をいただきながら改善できるように話し合う場を多く設定することで、日々の授業改善へとつながった。

○地域の方が指導してくださることで、緊張感のある学習が行えており集中して取り組んでいる。また、指導者が良き手本となり、指導者に対する憧れや、伝統文化である慶良間太鼓に誇りを持っている児童も多い。

5 課題

(1) 小中併置校の良さを生かし、今後も小中それぞれの一人一授業をもっと参観できるような工夫をしていきたい。

(2) 指導者との連絡調整がうまくいかなかったこともあった。調整ができなかった時などは、専門的な指導でなかなか教師が指導するのは、難しい。そのため、見通しを持ち計画的に地域人材を活用したい。